

第4回愛南町海業推進会議 議事概要

開催日時 : 令和6年1月13日(水曜日)9時30分から12時00分

開催場所 : 愛南町役場本庁3階大会議室

参加者 : 海業推進会議委員(20名)

事務局(水産庁2名、愛媛県5名、(株)価値総合研究所2名、愛南町)
(水産庁及び価値総合研究所はオンライン参加)

一般来場者: 2名

議事概要 :

会議冒頭、水産課の濱課長から開会挨拶。以下、流れに沿って記載。

【第1部】情報共有

まず、第3回海業推進会議の振り返り、「海業振興の取組イメージ」について、資料に沿って説明が行われた。

<第3回海業推進会議の振り返り等について>

海業推進室の浜辺室長から、第3回海業推進会議の議事概要をもとに前回の振り返りを実施。次に、第3回海業推進会議以降の取り組みとして、家串湾の貝類養殖筏がJブルークレジット認証を取得したことや1月20日に実施された第14回愛南町水産フォーラムの概要について説明が行われた。次に、大野委員から運営委員会の状況について報告が行われた。その中で、地域経済循環率を高めるだけでなく街の満足度が相互作用で好循環していくこと(ローカルポジティブ)をグランドデザインで目指していきたいことや、お互いの活動を認識し合うことで、ローカルポジティブの輪を作り上げていく体制や仕組みづくりが必要であるという報告が行われた。また、佐伯委員から、これらの体制や仕組みとして考えられる法人形態の概略について説明が行われた。

<海業振興の取組イメージについて>

(株)価値総合研究所の鴨志田氏から、前回に引き続き愛南町の現状や課題を踏まえて、町内産業の「総海業化」の重要性が改めて説明された。また、それに向けた具体的な海業の取組イメージとして「地域参加型の水産加工施設整備」や「海業関連産業をつなぐ地域商社の設立」、「養殖業や漁業とコラボした観光・研修コンテンツの開発・販売」について紹介が行われた。また、参考となる他地域の事例が紹介された。

(休憩、第2部は10時20分より再開)

【第2部】 グランドデザインについて

まず、浜辺室長からグループ討議と全体討論の進め方、グランドデザイン（仮称）の骨子案について説明が行われた。

<グループ討議>

「グランドデザインの骨子案」をテーマにそのコンセプト、構成、各プロジェクト、課題や要検討事項について議論が行われた。

<全体討論>

まず、各グループ進行役の前田委員及び大野委員がグループ討議で出た意見を取りまとめて発表を行った。グランドデザインのPRが重要であることや、共感を広げていくこと、巻き込んでいくこと、様々なことを包含すること、海業振興モデル地区というチャンスを生かしていくことなどの意見が挙げられた。

【その他、連絡事項】

(株)価値総合研究所の木村氏からグランドデザインをもとに、海業の計画書を作成する旨の説明が行われた。また、田中（純）委員から、10月に実施した意見交換会を再び意見3月下旬頃に開催することの案内が行われた。さらに、関根委員から地域おこし協力隊任期満了に伴う挨拶が行われた。最後に、事務局から次回の海業推進会議を3月13日または14日に開催すること、事後アンケートの提出をお願いする旨の説明が行われた。

以上